

こんげつ
今月は

ヒグマと人が平和に 暮らすための取り組み を紹介！

わたし
しょうかい
します



札幌の山にはヒグマがすんでいて、歩く姿や足跡などが年間約200件目撃されています。多くのヒグマは人を怖がって避けますが、人に気づいて驚いたときや、母グマが子グマを守るときは、人を襲うことも。安心して暮らすには、お互いに生活する場所を分ける工夫が必要なんです。

環境共生担当 佐々木職員

札幌のまちづくりに関するニュースをお届けします。このページを読んで、友達や家族と話してみよう！
環境共生担当 ☎(21)2879



人とヒグマが出合わないために大切なことを知ろう

おいしかった食べ物の味を覚えて探し回るよ



ヒグマは畑の野菜や果物、人が山に捨てたごみなどを食べて、気に入ってしまうことがあるんだ。また食べるために繰り返し街に出てきて、人がいても平気になってしまふヒグマもいるんだよ。



人の食べ物の味を覚えちゃいけないんだね

ヒグマを街に近づけないために

- ・ごみをポイ捨てしない
 - ・山と街の間の場所では、ヒグマが隠れる草や木を切る
 - ・庭や畑を電気が流れる柵で囲うなど
- 電気柵を設置したい人への支援は18歳で紹介しているよ

山でヒグマに出合わないために



- ・鈴などで音を出して歩く
- ・新聞やテレビの出没情報を確認する
- ・ヒグマのふんや足跡があったらすぐに引き返すなど

ヒグマの特徴や

わたしが
私たちが
注意することを
冊子でも確認しよう



配布場所 区役所(1階)、市役所12階環境対策課など